



2022年5月30日

各位

会社名 第一屋製パン株式会社
代表者名 代表取締役社長 細貝 正統
(コード:2215 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 執行役員コーポレート本部長
矢野 邦彦
(TEL:042-344-7601)

関東生産拠点の集約及びそれに伴う 特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、下記のとおり、関東での生産機能を小平工場（東京都小平市）、金町工場（埼玉県三郷市）、高崎工場（群馬県高崎市）の3工場に集約し、横浜工場（神奈川県横浜市）については工場閉鎖し、跡地を有効活用することを決定いたしましたので、お知らせします。

1. 関東での生産拠点の概要

	小平工場	金町工場	高崎工場	横浜工場（閉鎖工場）
所在地	東京都小平市小川東町三丁目6番1号	埼玉県三郷市高州四丁目83番地	群馬県高崎市宮原町4番地	神奈川県横浜市戸塚区平戸町100番地
操業開始	1974年4月	1967年1月	1965年1月	1964年1月
敷地面積	20,980 m ²	33,905 m ²	18,072 m ²	13,285 m ²
建物面積	12,270 m ²	22,606 m ²	9,714 m ²	10,577 m ²
従業員数	295名	311名	194名	236名

2. 生産拠点集約の理由

会社業績の早期改善に向け、経営資源の再配置と効率化を念頭に、安定した収益基盤を構築し、将来にわたって社会価値・顧客価値を提供し続けるためのあらゆる可能性を検討した結果、横浜工場の生産を関東の他の3工場（小平、金町、高崎）に集約し、横浜工場の跡地について有効活用することを決定いたしました。このことにより、生産性向上を通じた競争力の強化を図ると共に、今後の需要に応える生産量の確保を継続してまいります。

3. 拠点集約の時期

2022年6月より順次生産設備の移動を行い、2022年12月に完了予定。

4. 今後の見通し

拠点の集約に伴う諸経費等を特別損失として計上する見込みですが、集約及び跡地有効活用によって得られる継続効果と合わせ現在精査中です。2022年12月期通期の連結及び個別決算に与える影響つきましてもわかり次第速やかに開示いたします。

以上